

2024 年 9 月 12 日

報道関係各位

株式会社 O K B 総研

「O K B 景況指数」 2024 年 9 月期調査報告

O K B グループのシンクタンク（株）O K B 総研（大垣市郭町 2-25 社長 青木 義実）は、3 ヶ月ごとに「O K B 景況指数」を公表しております。このたび、2024 年 9 月期調査報告を取りまとめましたのでご案内します。

調査結果要旨

景気の水準	景気全般は▲4.1（前回比▲2.9）と 2 期連続で低下。自動車の認証不正問題や円安に伴う資材価格の高騰、人手不足などにより生産活動および企業収益が低迷。一方、個人消費は賃上げの広がりに伴い持ち直し。
景気の方角	3 ヶ月後の景気は悪化を予想。生産活動は持ち直す一方、個人消費および企業収益は減少を見込む。
追加調査	地域の不動産取引件数は、『増加』が 25.5%、『減少』が 32.2%と 2 極化。主要課題は、「価格の高騰」が 45.6%と最も多く、特に愛知県で顕著。今後 1 年間の不動産市場は、『明るい』が 11.1%、『暗い』が 47.8%と弱気の見通し。借入金利・住宅ローン金利の上昇は『影響がある』が 9 割超。

O K B 景況指数 とは・・・

O K B 大垣共立銀行の支店長を対象に 3 ヶ月ごとに調査を実施
東海 3 県にある O K B 大垣共立銀行の支店長を調査対象としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。
県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計
「名古屋」、「西尾張」、「西濃」など、 <u>県域より狭い地域の景気水準を表す指標</u> を公表している。 (注) 東海 3 県の当該県域全体を対象としない(O K B 大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋証券取引所・金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：O K B 総研 調査部 中澤・梅木 TEL: 0584-74-2615 FAX:0584-74-2688】

OKB景況指数（2024年9月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の支店長および法人営業部担当者（114名）
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方
- (3) 調査方法 2024年8月上旬に調査票を配付し、8月下旬までに回収

調査結果

景気的水準：景気全般は▲4.1（前回比▲2.9）と2期連続で低下。自動車の認証不正問題や円安に伴う資材価格の高騰、人手不足などにより生産活動および企業収益が低迷。一方、個人消費は賃上げの広がりに伴い持ち直し。

景気の方：3ヵ月後の景気は悪化を予想。生産活動は持ち直す一方、個人消費および企業収益は減少を見込む。

	景気的水準(2024年9月期)	景気の方(3ヵ月後見通し)
全地域	・景気全般は▲4.1（前回比▲2.9）と、2期連続で低下。	・▲14.0と「悪化」超
	(支店長コメント) 自動車関係の大手メーカー検査不正による製造ライン停止の影響が出ている。金利引上げが中小企業の資金繰りを圧迫する可能性。個人住宅を除けば個人消費の大きな落ち込みは見られない。	
県別	・愛知県は4.8（前回比▲2.7）、岐阜県は▲10.4（同▲3.5）と、ともに前回から低下。	・愛知県は▲19.2と「悪化」超 ・岐阜県は▲11.0と「悪化」超
	(支店長コメント) ・愛知県では、自動車の認証不正問題の影響等から、自動車関連企業において利益や収益面で影響を受けている企業が散見される。賃金は上昇傾向にあり、個人消費が堅調。賞与増加企業も多く、百貨店やモール内での購買意欲が高まっている。 ・岐阜県では、円安による原材料の価格高騰や人件費上昇を主因とし経費が膨らんでいる。価格転嫁が進んでいる企業は限定的であり利益率良化には時間を要する。日米間の金利差縮小により円高が進めば原材料の価格高騰は落ち着く可能性あり。	
地域別	・三河、西濃など5地域で前回調査から低下。西尾張、東濃・可茂は前回から上昇。	・「悪化」超 名古屋、東尾張、西尾張、三河、岐阜、西濃
	(支店長コメント) 【西尾張地域】 地場産業である繊維関連は厳しい状況が続いているものの、他業種は概ね良好。日銀の利上げや株式市場や為替の調整局面により先行きは不透明。当地域は喫茶店が多くモーニング文化が根付いているが、連日の猛暑により来店客が増加している。 【西濃地域】 自動車関連製造業は認証不正問題を受けたライン停止により売上が大きく減少している企業が多い。機械部品製造業は比較的堅調。建設業は個人向け住宅の業績が芳しくない。住宅ローンの金利上昇も確実であり、更なる受注量の減少が懸念される。	
項目別	・「全地域」を項目別に見ると、「個人消費」は▲3.5（前回比+2.2）と前回から上昇したものの依然マイナス圏。「生産活動」は▲3.5（同▲5.8）と2期ぶりに低下。「企業収益」は▲9.1（同▲7.1）と6期ぶりに低下。	・「増加」超 「生産活動」、「設備投資」 ・「減少」超 「個人消費」、「企業収益」、「資金需要」 ・「不足」超 「雇用」
	(支店長コメント) 「個人消費」：飲食店は比較的好調、旅行業やサービス業においてもコト消費需要は継続している。総体的に物価高により消費者の買い控えは起きているものの、傾向として必要な物や欲しい物に関しては値段に関係なく購入される様である。 「生産活動」：自動車業界は自動車メーカー不正の影響により低調。土木、建設業界については、建設費高騰や2024年問題による従業員の処遇改善により工期が延びており、生産活動に影響あり。人手不足も深刻で、案件があっても人手が足りず受注できないケースが増えてきている。 「設備投資」：各種製造業における工場建設、機械設備投資の案件は複数あり。一方で先行き不透明感、生産・管理コストや金利コスト増を背景に慎重姿勢を見せる企業も。 「企業収益」：仕入コスト等を価格転嫁出来ている企業とそうでない企業で収益力に大きく差が出ている。金利コストも上昇する可能性が高く、将来的な収益低下要因となりうる。 「雇用」：製造業、建設業等幅広い業種で人手不足は依然としてあり。一方で製造業を中心に工場のオートメーション化を進めたスマートファクトリーに取り組む企業もあり。	

*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。

②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」（2024年9月期）

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準（前回比）	今期水準（前回比）	今期水準（前回比）	今期水準（前回比）	今期水準（前回比）	今期水準（前回比）	今期水準（前回比）
名古屋	10.5 (▲5.3)	5.3 (+7.9)	▲7.9 (▲15.8)	15.8 (▲5.3)	10.5 (+2.6)	18.4 (▲5.3)	73.7 (+5.3)
東尾張	5.6 (▲3.7)	0.0 (+5.6)	▲1.9 (▲16.7)	14.8 (0.0)	7.4 (▲5.6)	0.0 (+5.6)	72.2 (+5.6)
西尾張	6.3 (+12.5)	6.3 (+3.1)	▲6.3 (▲12.5)	▲3.1 (+12.5)	▲12.5 (▲3.1)	▲15.6 (0.0)	71.9 (+9.4)
三河	▲9.1 (▲18.2)	▲9.1 (+4.5)	0.0 (▲9.1)	▲9.1 (0.0)	▲9.1 (▲18.2)	18.2 (+9.1)	77.3 (0.0)
岐阜	▲6.4 (▲0.2)	▲7.7 (▲10.2)	11.5 (+2.8)	▲3.8 (+2.4)	▲17.9 (▲9.2)	▲16.7 (▲6.7)	75.6 (+9.4)
西濃	▲20.4 (▲13.5)	▲13.0 (+2.6)	▲18.5 (▲11.6)	▲9.3 (▲12.7)	▲14.8 (▲9.6)	▲24.1 (▲8.6)	75.9 (▲1.7)
東濃・可茂	▲15.0 (+2.5)	▲2.5 (+5.0)	▲7.5 (+12.5)	▲12.5 (▲20.0)	▲22.5 (▲12.5)	▲30.0 (▲20.0)	55.0 (▲10.0)
飛騨・郡上	30.0 (0.0)	20.0 (+40.0)	0.0 (0.0)	▲10.0 (+10.0)	0.0 (0.0)	▲20.0 (+10.0)	90.0 (0.0)
桑名・四日市	▲14.3 (0.0)	▲14.3 (0.0)	▲14.3 (0.0)	▲14.3 (▲14.3)	▲14.3 (0.0)	0.0 (+14.3)	78.6 (+28.6)
愛知県(4地域)	4.8 (▲2.7)	1.4 (+5.5)	▲4.1 (▲14.4)	7.5 (+1.4)	1.4 (▲4.8)	4.1 (+2.1)	73.3 (+5.5)
岐阜県(4地域)	▲10.4 (▲3.5)	▲6.6 (▲0.2)	▲2.2 (+0.5)	▲7.7 (▲6.6)	▲17.0 (▲9.6)	▲22.0 (▲9.2)	72.0 (+1.2)
三重(1地域)	▲14.3 (0.0)	▲14.3 (0.0)	▲14.3 (0.0)	▲14.3 (▲14.3)	▲14.3 (0.0)	0.0 (+14.3)	78.6 (+28.6)
全地域	▲4.1 (▲2.9)	▲3.5 (+2.2)	▲3.5 (▲5.8)	▲1.5 (▲3.5)	▲9.1 (▲7.1)	▲9.9 (▲3.3)	72.8 (+4.1)

(※1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(※2) () 内の前回比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(※3) 雇用は「不足－過剰」で算出。プラスは「不足超」、マイナスは「過剰超」を示す。

図表2 OKB景況指数「景気の方角（3ヵ月後見通し）」（2024年12月期見通し）

(単位：％ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」－「悪化」	「増加」－「減少」	「増加」－「減少」	「増加」－「減少」	「増加」－「減少」	「増加」－「減少」	「不足」－「過剰」
名古屋	▲21.1	0.0	10.5	10.5	▲5.3	15.8	26.3
東尾張	▲14.8	▲29.6	18.5	▲3.7	0.0	▲3.7	33.3
西尾張	▲25.0	▲25.0	▲12.5	▲6.3	6.3	18.8	18.8
三河	▲18.2	▲9.1	0.0	36.4	0.0	0.0	36.4
岐阜	▲5.1	▲12.8	10.3	7.7	▲17.9	0.0	15.4
西濃	▲29.6	0.0	▲7.4	▲14.8	▲22.2	▲14.8	25.9
東濃・可茂	0.0	▲15.0	10.0	0.0	10.0	▲10.0	25.0
飛騨・郡上	0.0	▲40.0	0.0	0.0	▲80.0	▲20.0	100.0
桑名・四日市	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	42.9
愛知県(4地域)	▲19.2	▲17.8	6.8	5.5	0.0	6.8	28.8
岐阜県(4地域)	▲11.0	▲11.0	4.4	▲1.1	▲16.5	▲7.7	25.3
三重(1地域)	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	42.9
全地域	▲14.0	▲13.5	6.4	1.8	▲8.8	▲1.2	27.5

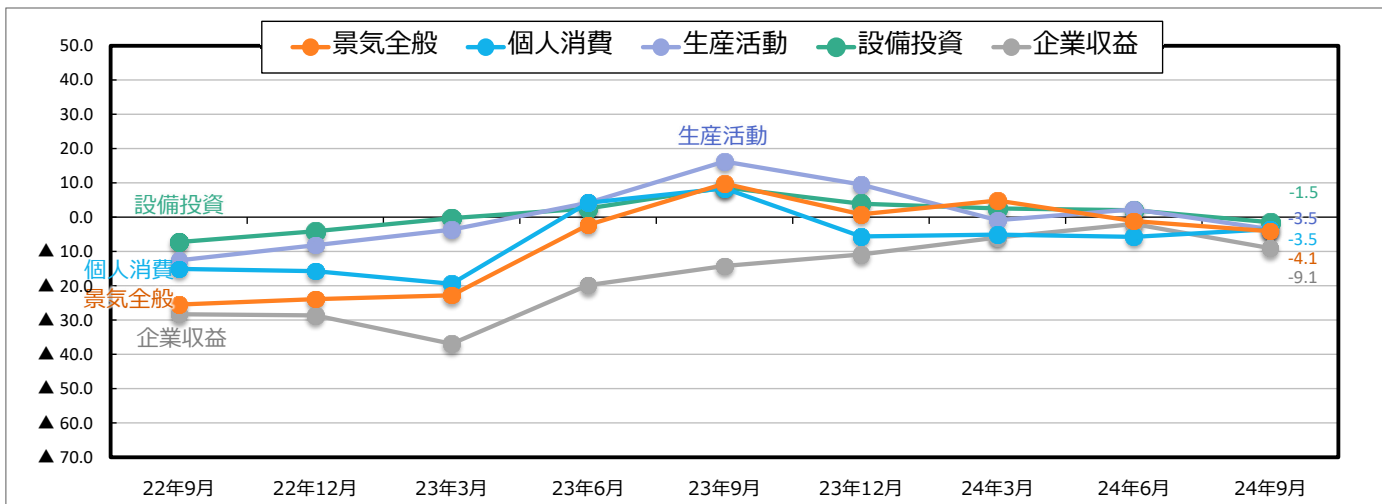
(※) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(％)－「悪くなりそう」と回答した割合(％)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(％)－「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(％)

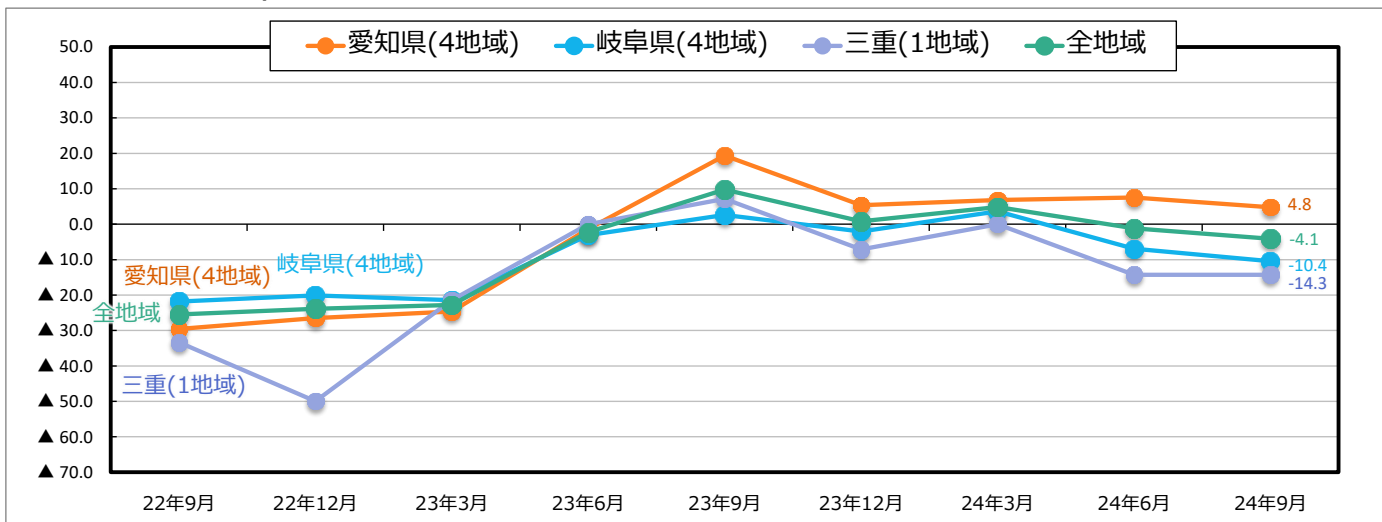
「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

「景気の水準」の推移

■項目別（資金需要、雇用を除く）

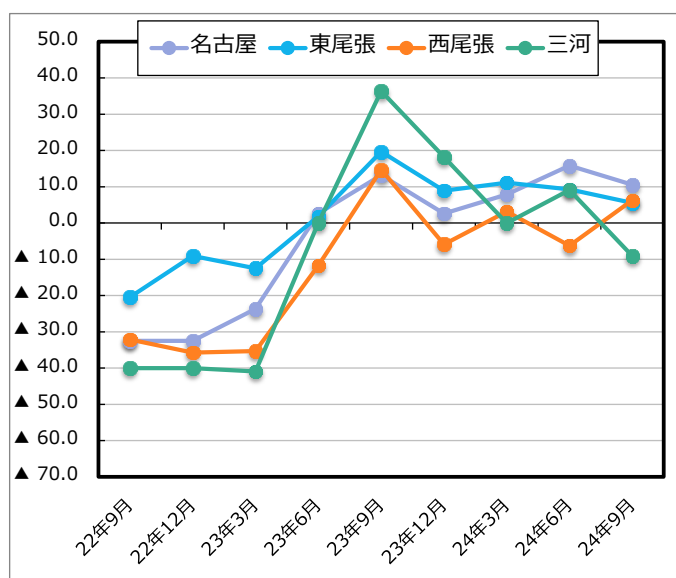


■県別（景気全般）

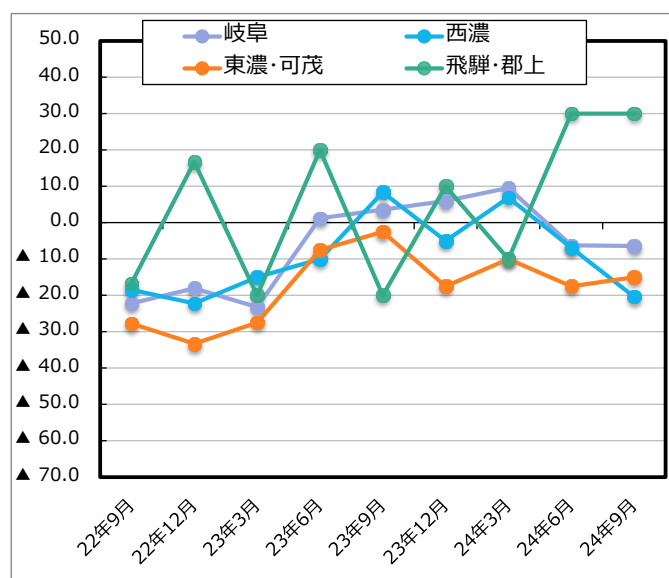


■地域別（景気全般）

①愛知県内



②岐阜県内



追加調査 1

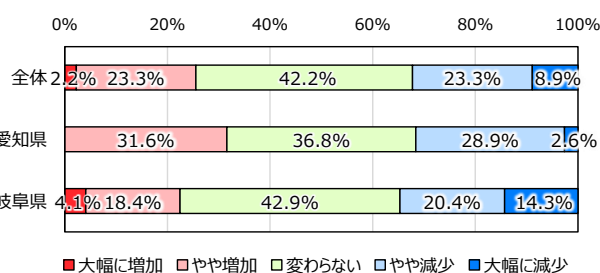
「不動産市場の動向」

地域の不動産市場の動向について尋ねた。

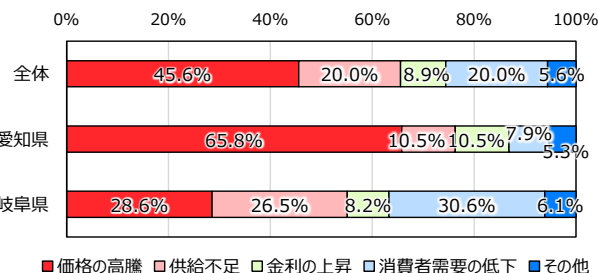
地域の不動産取引件数は、『増加』が 25.5%、『減少』が 32.2%と 2 極化。主要課題は、「価格の高騰」が 45.6%と最も多く、特に愛知県で顕著。今後 1 年間の不動産市場は、『明るい』が 11.1%、『暗い』が 47.8%と弱気の見通し。借入金利・住宅ローン金利の上昇は『影響がある』が 9 割超。

- ①地域の不動産取引件数は『増加』（「大幅に増加」+「やや増加」）が 25.5%、『減少』（「大幅に減少」+「やや減少」）が 32.2%と 2 極化の傾向が見られる。岐阜県では「大幅に減少」が 14.3%と目立つ。
- ②不動産市場における主要課題は「価格の高騰」が 45.6%と最も多く、次いで、「供給不足」、「消費者需要の低下」が 20.0%と続いた。愛知県は「価格の高騰」が 65.8%、岐阜県は「消費者需要の低下」が 30.6%が最も多い。
- ③今後 1 年間の不動産市場の見通しは、「やや明るい」が 11.1%となる一方、「やや暗い」が 38.9%、「非常に暗い」8.9%と合わせて 47.8%となっており弱気の見通し。
- ④住宅ローンの新規申込件数は「やや減少している」が 41.1%と最も多く、「変わらない」が 32.2%、「大幅に減少している」が 23.3%と続いた。『減少している』（「やや減少している」+「大幅に減少している」）が 64.4%と足元で減速傾向が見られる。
- ⑤借入金利・住宅ローン金利の上昇による影響は、「大きな影響がある」が 22.2%、「ある程度の影響がある」が 68.9%と合わせて 9 割超となった。
- ⑥住宅ローンの条件変更や借り換えの問い合わせは、「大幅に増えている」、「やや増えている」を合わせ 21.1%となった。

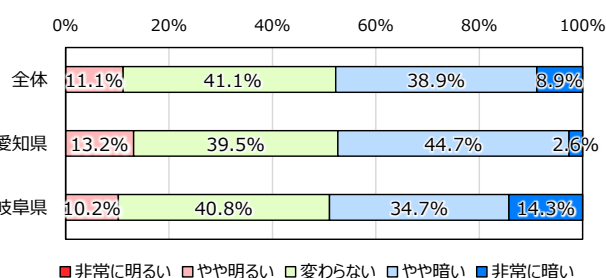
①不動産取引件数



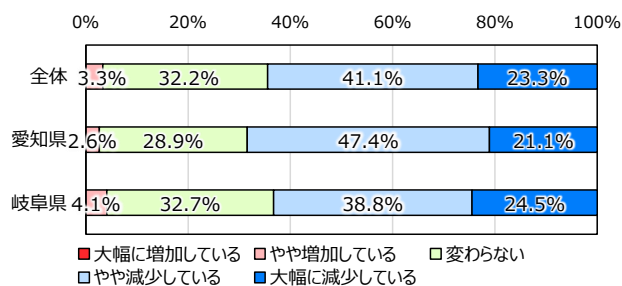
②地域の不動産市場における主要課題



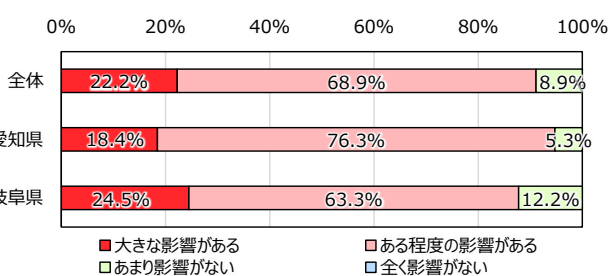
③今後 1 年間の不動産市場の見通し



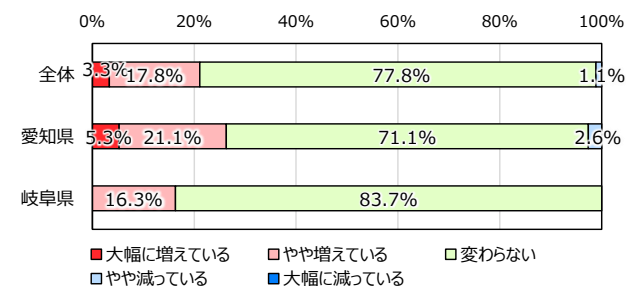
④住宅ローンの新規申込件数



⑤借入金利・住宅ローン金利の上昇による不動産市場の影響



⑥住宅ローンの条件変更や借り換えの問い合わせ

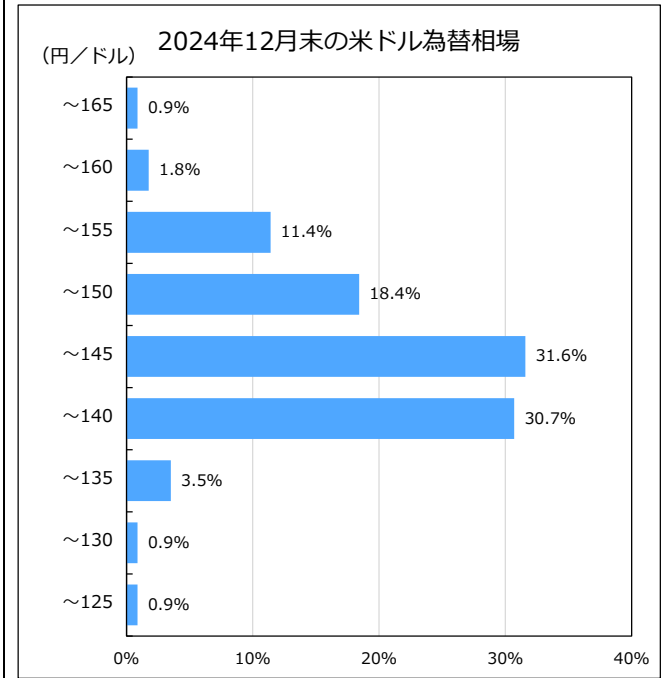


追加調査 2

「2024 年 12 月末の米ドル為替相場・日経平均株価」

2024 年 12 月末の相場予想の平均は、米国の利下げにより日米間の金利差が縮小し、円高が進むとの見方から、米ドル為替相場は 1 ドル＝143.88 円となった。
日経平均株価の予想平均は 37,910 円だった。

2024 年 12 月末の為替・株式の予想を尋ねたところ、米ドル為替相場の予想平均は 1 ドル＝143.88 円、日経平均株価の予想平均は 37,910 円だった。米ドル為替相場は、日銀の追加利上げと米国の利下げにより、日米間の金利差が縮小し、円高が進むとの見方から、「135 円超 145 円以下」を予想する声が多い。日経平均株価は、円高の進行により輸出関連企業を中心にマイナス影響が見込まれることから、「37,000 円超 40,000 円以下」を予想する声が多い。

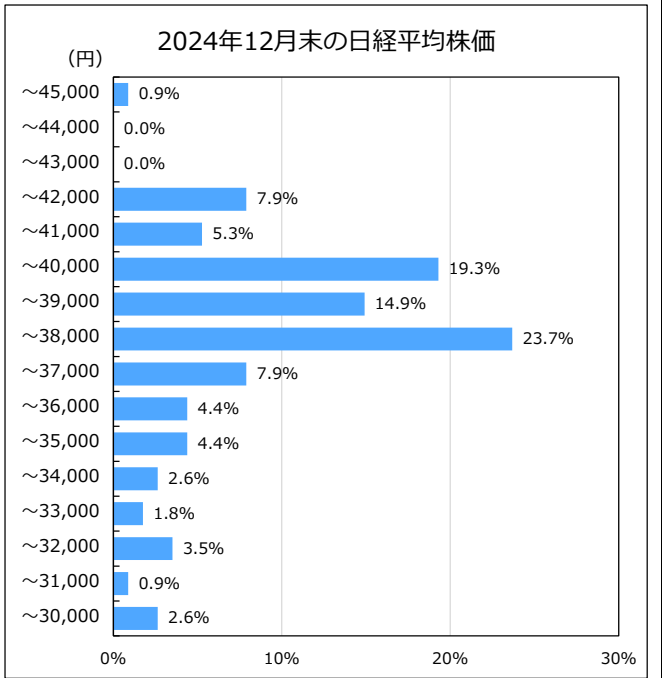


2024年12月末の米ドル為替相場 (円/ドル)			
	全体	愛知	岐阜
平均値	143.88	143.20	144.29
最大値	160.20	160.20	155.00
最小値	125.00	125.00	135.00
最頻値	140.00	140.00	140.00
中央値	142.50	142.00	143.50

(ご参考)	
2024年8月相場 (円/ドル)	
月中高値	150.89
月中安値	141.66
月末時点	146.16
出所：Refinitiv	

・予想コメント

円安要因 (一部抜粋)
・ 日銀の利上げ観測後退
・ 日米金利差の持続
・ 米国経済の好調維持
・ 米国の利下げペース鈍化
円高要因 (一部抜粋)
・ 日銀の追加利上げ
・ 米国の利下げ
・ 日米金利差の縮小
・ 米大統領選の動向



2024年12月末の日経平均株価 (円)			
	全体	愛知	岐阜
平均値	37,910	37,408	38,285
最大値	44,500	42,000	44,500
最小値	29,800	30,000	29,800
最頻値	38,000	38,000	38,000
中央値	38,000	38,000	38,500

(ご参考)	
2024年8月相場 (円)	
月中高値	38,781.56
月中安値	31,156.12
月末時点	38,647.75
出所：Refinitiv	

・予想コメント

上昇要因 (一部抜粋)
・ 企業業績の好調維持
・ 米国の利下げ
・ 米大統領選挙などイベントの終着による米国株上昇
・ 米国および日本景気の緩やかな拡大
下落要因 (一部抜粋)
・ 日米金利差縮小による円高の進行
・ 輸出関連企業の業績伸び悩み
・ 日銀の追加利上げ
・ 米国景気の先行き懸念